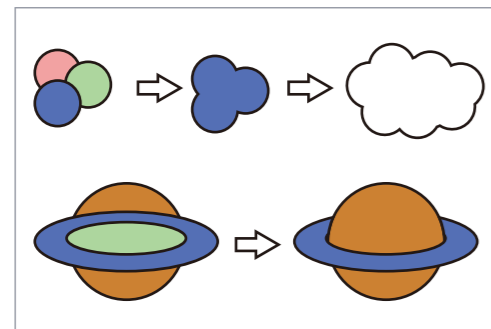


Adobe Illustratorについて

名刺やロゴ・イラスト作成・ポスターやチラシの制作に、業界で最も使われているソフトが「Adobe Illustrator (アドビ イラストレーター)」です。Illustratorでは、「図形の組み合わせで絵を描く」「ピクトグラムやロゴ作成」「名刺やフライヤーの印刷物の作成」といった実践的なカリキュラムを通じて、基本操作からしっかりと学習していきましょう。



◆ 図形の組み合わせで絵を描く

まずは基本操作とIllustratorの特徴を覚えるために自由に絵を描いてみます。紙と鉛筆ではなく、パソコンで描く特徴と違いとコツを学んでみましょう。



◆ ピクトグラムやロゴ作成

基本操作の次は、目的や理念を考えた「デザイン」をしてみましょう。商業デザインを実践することで、現場で求められるデザイン力とは何か?を考えながら学習していきましょう。



◆ 名刺やフライヤーの印刷物の作成

ビジネス用はもちろんですがパーティや個人でお使いになる名刺やフライヤーの作り方も学べるカリキュラムです。また、プロを目指すなら身につける技術は何か?必要なのか?までの実習をご用意しています。

Adobe XDについて

「Adobe XD」はその「Photoshop」「Illustrator」を使って「WEBデザイン」をしてきたユーザーを対象とした新しいアプリケーションです。「デザイン」としてワイヤーフレーム/カンパの作成、WebサイトやモバイルアプリなどのUI/UXデザインのプロトタイプを作成し動作確認をし、制作チームで共有することによってフィードバックを得ることが出来るアプリケーションです。



◆ ワイヤーフレーム/カンパの作成

まずは基本操作と「Illustrator」と「Photoshop」との特徴の違いを覚えるためにワイヤーフレーム/カンパの作成を通じて操作方法学んでいきます。様々なWEBサイトの仕組みや構成を考えながら「使いやすい」「どうしたら多くの人に利用していただける」「お客様の要望に応えられる」を考えながら、デザインをしていきましょう。



◆ WEBサイト・モバイルアプリなどのプロトタイプを作成

様々なデバイスに対応することを想定したデザインを考えて設計していきます。PC・タブレット・スマートフォンはもちろん、最近ではカーナビやゲームの端末など様々なデバイスでインターネットを利用する事が出来るようになりました。その様々なデバイスに対応したデザインをAdobeXDを利用して考えて制作してみましょう。



◆ 共有ツールとしての活用法を学びましょう。

AdobeXDの特徴として共有ツールとしての活用法がひとつ現場でのお仕事のポイントになるかもしれません。作品を一人で作ることは、近年ではあまり無いかもしれません。制作チームでクライアント、外注の制作チームなど、多くの人たちとプロジェクトを進めることが多いかと思います。そこで、ここ数年注目されているのがAdobeXDです。AdobeXDを活用して、より良い作品づくりを目指しましょう。

Adobe Photoshopについて

レタッチ・画像データの補正や修正・WEBサイトのバナー作成やページデザイン等の制作に、業界で最も使われているソフトが「Adobe Photoshop (アドビ フォトショップ)」です。Photoshopでは、「写真補正や修正をして合成写真の作成」「印刷物としての写真の取り扱い」「WEB制作としての役割」といったカリキュラムを通じて、基本操作から学習していきましょう。



◆ 写真補正や修正をして合成写真の作成

画像の色味の変更や切り取りをして、複数の画像を使って新たな1枚の画像を作成してみましょう。合成写真を作ることで、Photoshopの特徴と機能を学んでいきましょう。



◆ 印刷物としての写真の取り扱い

はがきサイズのDMやメッセージカードを作成したりフライヤーの作成では、「Illustrator」と「Photoshop」両方を使用します。役割理解と注意点を、作品を通じて学習していきましょう。



◆ WEB制作としての役割

WEBサイトのデザインの基礎となる「ワイヤーフレーム」や「デザインラフ」をPhotoshopで作成してみましょう。WEB用のパーツの取り扱いや、印刷物との連携を意識したデータの取り扱いと利用方法を習得しましょう。